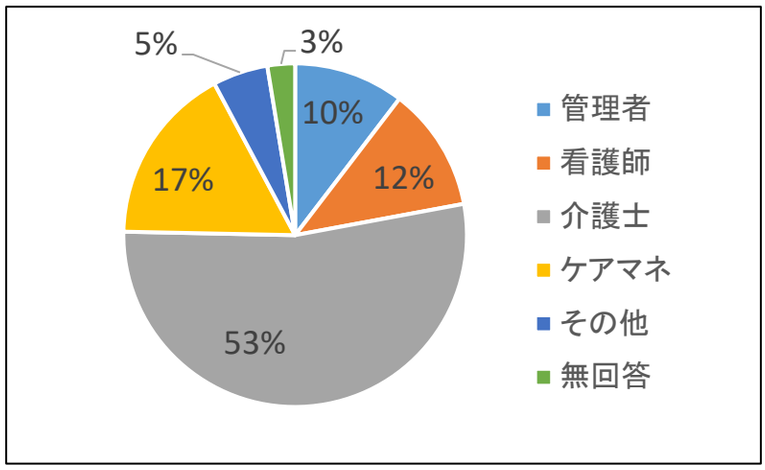
医療サポート研修会「口から食べる幸せと安全な食事介助」アンケート結果

○　日時：平成30年7月17日（火）18：30～20：00
○　場所：日本海酒田リハビリテーション病院 3階講義室
○　参加者82名　アンケート回答者77名　回収率94%

1. 参加者職種

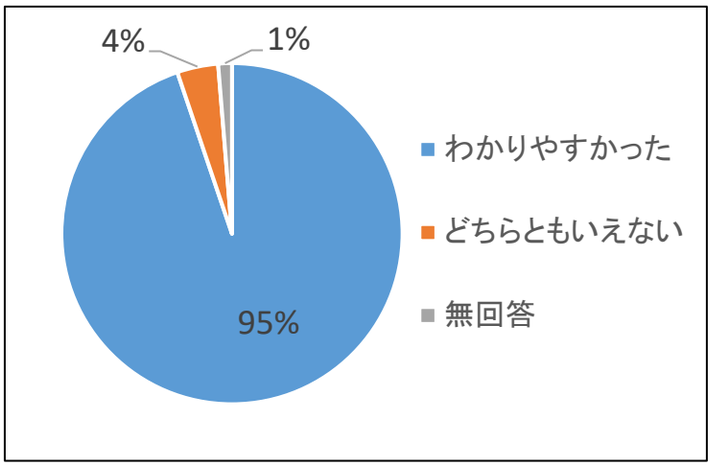
管理者	8
看護師	9
介護士	41
ケアマネ	13
その他	4
無回答	2
合計	77

その他：作業療法士
管理栄養士、生活相談員
相談員



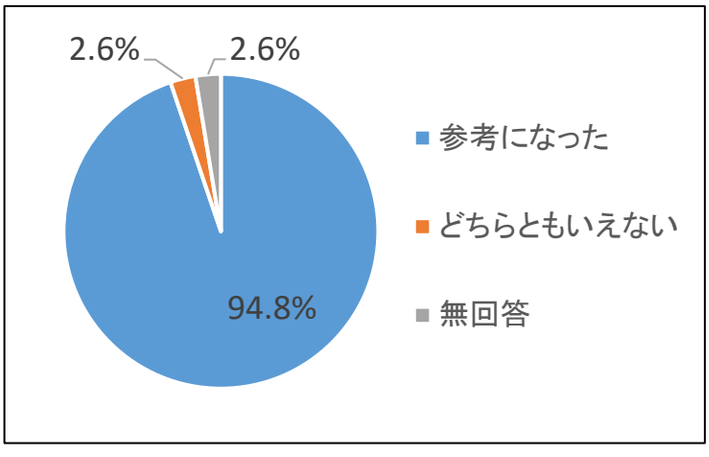
2. 研修会の内容について

わかりやすかった	73
わかりにくい	0
どちらともいえない	3
無回答	1
合計	77



3. 研修会に参加してみて

参考になった	73
あまり参考にならなかった	0
どちらともいえない	2
無回答	2
合計	77



理由や感想

管理者

・その人らしさを支えるという気持ちの入ったプランが基本であることを改めて考えさせられました。
・業務を行う以上、どうしても「作業」となる傾向になりがちです。「食べる楽しみ」という考え方に着目し、取り組んでいきます。
・食べ物を食べる姿勢など知らないこともあり参考になりました。
・食事を考える良い機会になりました。優しい声で聞きやすかったです。ありがとうございました。
・具体的なところまで説明していただき大変参考になりました。ありがとうございました。
・話の仕方などとても聞きやすかった。
・飲み込みが悪かったり、咽る方に安全に食べてもらう為の参考になりました。
・パタカラ、実施します。
・自施設でも、とろみ剤を使用している入所者が数名います。とろみ剤を使用している意味（重要度）を職員一人一人が正しく認識できているか、確認する機会としたいと思います。

看護師

・ゆっくり丁寧な話し方でわかりやすかったです。
・分かりやすかったですが、嚥下の評価について耳鼻科や歯科以外に嚥下専門の外来への紹介はすすめられないものでしょうか。
実際退院時に経口摂取不可だった方が嚥下専門Drに診てもらい経口摂取できるようになった方がいます。
・とても聞きやすくわかりやすい講義でした。
心理的アプローチやリスク回避など、新しい情報として取り入れたいと思います。
・介助で食事を摂取している方が多いため、リスク回避で少しだけあがっていた介助方法のコツの方をくわしく聞きたかった。ご家族へ指導のポイントをふくめて。
質問に対する説明がいまいち。
・特養では老衰期、食事が取れなくなると医師より看取り期と診断されてしまいますが、本人の生活歴や好きな物を聞き出し、飲み物からスタートし数ヵ月間試した所、食事量が徐々に増えていきました。
・自助具の自作など教えていただき参考になりました。

介護士

・自分ではわかっている事を再確認する事ができました。わからない事もあったので、とても勉強になりました。
・我々の施設内の利用者で問題点とされる事を説明して頂いて良かった。
・「食べる事を通してその人らしさを支える」為に食べる事が難しくなる。それに対してのリスクや回避の方法
食べやすい姿勢、食べやすい道具、様々な食べやすくする工夫をする事で、口から食べる幸せを提供できる事を学べた。講義、資料が大変わかりやすく勉強になった。
・はっきりした話し方が良かったです。勉強になりました。
・だいたいは知っていた事が多かった。（勉強した事等）
・具体例や絵を使用しているため、分かりやすかった。確認例も分かりやすく、実践しやすいと思った。
・先生のお人柄でしょうか、優しく分かりやすかったです。
・ムセやすい方に食事介助をする時の心がけなどを参考になった。
・パワーポイントと分かりやすい写真とイラストでした。
・食事に関しては、日々業務の中で向き合っています。個々の好みや意見を尊重しながら努めていこうと改めて感じました。食べにくい食材等、知ることができ今後活かしていきたいと思います。
・毎日かかわっている食事について、改めて重要性を感じました。私たちのできること、ちょっとした工夫で、入所されている方の生活を少しでもよくしていけたらと思います。
明日からの介護に活かしていきたいと思います。
・リスク回避のため「こうすると良い」を見つけること、工夫することの大事さが実感できた。
・食事の時の姿勢や食べやすいスプーンを使用して1人1人の食事に合わせた介助の方法を教えてもらいました。
・とてもわかりやすく、自施設の全職員に参加してほしい研修会でした。食べることは生きること。改めて感じ

ました。そしてたんにむせるから、食べないからといってあきらめるのではなく、まずはしっかりとした食事の環境、姿勢等のアセスメントして工夫することが大切だと思いました。
・利用者にとって食べることはどんな意味があるのかとか、食べる姿勢など改めて気を付けていかなければいけないと思いました。
・寝たきりの方はいませんが、食事中にムセてしまう利用者様がいて、今日学んだことを思い出しながら顔を見たり何でムセたかを確認していきたいと思います。
・食べる時の角度や姿勢に注意しながら日々の食事の様子を観察していけたら良いと思います。
・話も分かりやすく、勉強になりました。
・これからも仕事に役立てられる内容で参考になりました。
・とても聞きやすい、わかりやすい講演でした。利用者に寄り添ってすばらしいと思いました。
・むせやすくなった＝トロミ剤を増やしてしまうイメージだが、（安全面ばかり目がいってしまうが）その人らしく楽しく食べていただくことが大切だと改めて感じた。
・食べにくい食材に体温と同じくらいの温度のものとあり、とても参考になりました。
・ギャッジアップ30度は反射が遅い人に適していると聞いて、施設内の利用者にもそのような人がいるので試してみたいと思いました。
・利用者さんに当てはまる内容が多く、とても参考になりました。明日からの支援に活かしていきたいと思います。会場が寒かったです。
・食べてもらう為の工夫が具体的で分かりやすく、すぐ業務で取り入れたい内容でした。背もたれの角度も下げるメリット、デメリットが参考になりました。
・初めて聞くこと（体温に近いものは、ムセやすい）もあったので。
・とても聞きやすく、説明も分かりやすかったです。
・食べるペースが早い、かきこみ食いをする利用者さんへの対応などすぐにでも活用できる情報が多くあった。日々の業務内でどのようにリスク回避することができるか考えていきたいと思いました。
・ただトロミをつけるのではなくギャッジ角度などに合わせる事も大切だということを知ることができました。
・テーブルなどあればメモをとりやすくて良いと思いました。
・知らなかった事も分かりましたし、利用者の事を考えて介助していきたいと思いました。
・日々の業務で参考にできる事が多くあり、明日からの業務で活かしていければと思います。参加させて頂き大変勉強になりました。
・食事が進まない利用者様にいろいろ参考になりました。
・テーブルを用意してもらいたかった。
・少しの時間でも良いので、実演して欲しい。
・前にも同じ様な研修会に参加したから。室内が非常に寒かった。室温調整お願いします。
・今まで「ムセたから」と職員間で話しても、どのように、大きかった等の確認をしていませんでした。今回の研修を施設で実践できるのではと思った。
・今まで知っている事の再確認や、新たな知識を得ることになりました。

ケアマネジャー

・聞かれても何て説明すればよいのか迷うことも多いので、なるほどなと思うことが多かった。
わかりやすく説明できる内容を知ることができた。
・食事の大切さ、身体状態だけでなく雰囲気やその方がおかれている環境の大切さを改めて感じとる事ができました。
・質問②を提出しました。看護師の立場として、本人、家族の視点を優先しての返答に改めて、私（ケアマネ）の立ち位置が分かったような気がしました。「安全」を優先しながら、一歩先を見ながら一緒に考える専門職になりたいと思いました。参考になりました。ありがとうございました。
・事例も交えて大変わかりやすい内容でした。
・早速施設で共有したいと思います。
・毎日の食事の状態を見ていましたが、理由を知る事でアプローチを変える事もできる。

・トロミの濃度の表記（サマリー等で）病院によって違うので迷うことが多い。（ポタージュ状、1倍、2倍、3倍とか）ある程度、統一したものならば介護職員も理解しやすいと思う。
・自分は特養に勤務しているのですが多職種、協力して食事介助をしています。明日から今まで以上に「楽しい雰囲気」を意識して介助していきたいです。そしてご利用者の正しい姿勢にも、配慮していきます。

その他

・基本の部分を再確認することができて良かった。もう少し実例をふくめてもらえると良かった。
・内容にメリハリがない。少しは参考になりましたが、手元の資料と同じだったので。介助の方法などの情報が知りたかった。
・現場の職員に対してどのように説明すれば良いのかなど参考になった。
・現在の利用者様にはあまり該当ならなかった。
・改めて確認することができました。

無回答

・嚥下や摂取のことについて、くわしく知ることができた。

4. 今後希望する研修会や講演会、要望など

・食事時の姿勢をもっと詳しく取り上げてほしい。円背がある方。
・認知症の方の食事。
・リハビリについての研修会をやって欲しい。（麻痺の人）（拘縮の強い人）
・歩行時、車イス等からの転倒回避。
・認知症の利用者及び入居者への対応と接し方。
・様々、開催して下さればまた参加したいです。
・認知症の人の食事が進まない。どうアプローチするとよいか、などに関連したもの。
・今後、認知症の方に対する接し方についての研修会などの研修会へ参加してみたいです。
・理学療法士による体位交換や拘縮予防等について。
・介護技術の講演会を行ってほしいです。
・生活リハビリについて。
・薬の予備知識。
・看取りについてお願いしたいです。人生の最後 どのような対応がその方の「幸せ」を送る事ができるか学びたいです。
・褥瘡。
・ストレスチェックなどの講習会など。
・職員の意識を高める講習会など。
・夜間頻尿の方の改善方法・昼夜逆転の方の改善方法、どちらも薬以外の方法。